



India Weekly

2019年7月29日



(対象期間 : 2019/7/22~2019/7/26)

【株式市場】 SENSEX指数の推移 (2016年1月1日~2019年7月26日)



【株式市場】

前週にインドの超富裕層への増税が同じ課税分類に入る一部の外国人投資家にもかかるとの見解を政府が示したことが引き続き重石となって、株式市場は週初から軟調に推移しました。また、23日に国際通貨基金（IMF）がインドの経済成長率見通しを引き下げたことも嫌気されました。26日には安値を拾う買いも見られて反発しましたが、週間では下落となりました。

2019/7/19	2019/7/26	変化率
38,337.01	37,882.79	-1.18%

【債券市場】 インド本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日~2019年7月26日)



【債券市場】

インド準備銀行（中央銀行、RBI）のダス総裁が今後の金融政策は経済指標次第とインタビューで示したことを受けて、8月の金融政策決定会合での大幅利下げ期待が後退して週前半に10年国債利回りは上昇（価格は下落）しました。週半ばには一旦買われましたが、予算案で示されていた初の海外市場での国債発行に関して、首相府が米ドル建てでの発行を望んでいないと報じられたことを受けて、週後半にかけても利回りは上昇しました。

2019/7/19	2019/7/26	変化幅
6.364	6.524	+0.160

【為替市場】 インドルピーの対円レートの推移 (2016年1月1日~2019年7月26日)



【為替市場】

インド株式市場で外国人投資家の売りが続いたことなどが重石となりルピーは対米ドルで小幅に下落しました。一方、円の対米ドルでの下落幅が大きかったことから、対円ではルピーは上昇しました。

2019/7/19	2019/7/26	変化率
1.563	1.577	+0.90%

出所 : グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

＜当資料に関してご留意いただきたい事項＞ ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。 ※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。 ※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。 ※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。 ※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。 ※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号 / 加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャルグループ

英国ブルーデンシャルは、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナ

ンシャル社とは関係がありません。